

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	6361	円	
宿舍費	5257	円	食費込み
食費	885.17	円	外食、軽食など
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	90	円	月 30ドル
現地交通費	453.72	円	Uber など(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	297.44	円	
被服費	611.79	円	
医療費	56.28	円	
保険費		35700 円	形態:
渡航旅費	1147.02	円	
ビザ申請費		22400 円	
雑費	801.56	円	お土産など
その他		円	
その他		円	
合計	15960.98	58100 円	滞在中の出費は全てドルで支払った

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:NRT 目的地:LAX 経由地:	
復路 出発地:LAX 目的地:NRT 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:ZIPAIR 料金:1147.02ドル	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:ZIPAIR) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮(寮の名前:Olympic Hall) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

UCLA Housing

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ベッドのシーツや枕などの必要最低限のものは揃っていたのでよかった。共用部のシャワーとトイレも毎日清掃が入るため綺麗だった。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:Ashe Center)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

治安の悪い地域をインターネットで調べて、近づかないようにした。また、友人と位置情報を共有した。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や教室では Wi-Fi が繋がった。二種類あったので、その時繋がりのよい方を選んで使っていた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

両親がアメリカ在住なので、銀行口座を持っていた。そのため、ファミリーカードを使わせてもらっていた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

使い慣れた薬、お菓子、洗濯ネット、服。
薬以外は手にはいるが、アメリカで買うと高いので持ち込んだ方が良かった。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで支払った

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Culture Through Film	映画から学ぶアメリカ文化
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	Session A
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Fleshman, A.L. Kelley, J.C.
授業内容	映画をみて、映画内の人々の関係性に焦点を当てて、自国の文化と比較しながらディスカッションをする。
試験・課題など	毎週のエッセイ、スキットの発表
感想を自由記入	簡単な授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Conversation and Fluency	会話の流暢さ
科目設置学部・研究科	English as a Second Language
履修期間	Session A6
単位数	4.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Gevers, J.
授業内容	自然な会話の進め方について
試験・課題など	ネイティブスピーカとの会話の文字起こし、スキットの発表
感想を自由記入	簡単な授業だった。交友関係が広がった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introductory Psychology		心理学入門	
科目設置学部・研究科	心理学		
履修期間	Session C6		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Neer, E.M. Paquette-Smith, M.		
授業内容	心理学の用語についての解説、日常生活での応用についてディスカッション		
試験・課題など	毎週のエッセイ、中間レポート、期末レポート		
感想を自由記入	現地の学生が多く履修していた。基本的な用語や実験などを紹介するだけの授業だったため、そこまで難しく感じなかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Inside Hollywood		インサイドハリウッド	
科目設置学部・研究科	コミュニケーション		
履修期間	Session C6		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Peterson, S.		
授業内容	映画業界の現状についての講義、ゲストスピーカーのディレクターやプロデューサーによる経験談など		
試験・課題など	毎週のリーディング、レポート2回、テスト2回、プレゼンテーション		
感想を自由記入	現地の学生が多く履修していた。毎週のリーディングの量が多く、時間を取られた。テスト前は勉強に費やす時間がほとんどだった。レジュメなどがなかったため、教授の発言をしっかりと聞き取らないとテストで点が取れないため、大変だった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	出願
	10月～12月	語学試験(TOEFL iBT)
留学開始年	1月～3月	ビザ申請
	4月～7月	ビザ取得、滞在先の確保、履修登録、航空券購入、出発
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

名門大学で学べることは貴重な経験になるのではないかと思い、この留学先を選んだ。この留学で、高い志を持ったさまざまな国の人々に出会うことができた。もちろん日本からの留学生や、海外進学している日本人と出会うこともできた。日本で犬学生生活を送っていたら出会うことがなかったであろう人々と親しくなり、お互いに刺激し合えたことを嬉しく思う。ESL の授業では、アジアのトップクラスの大学からの留学生が多かった。授業後や休日に観光地を回るということも、このクラスの留学生の友人と行くことが多かった。共通言語が英語しかなかったため、彼らといるときは常に英語を話す環境にあった。さらに、お互いに英語が第二言語であるため、伝えたいことがうまく伝えられない際にも、ゆっくりと理解しようとする余裕があった。出会った人々と、お互いに高めあうことができる有意義な留学になった。Session C6 では難しい授業を履修するため、テスト前はほとんど勉強していた。しかし、それ以外の時間は遊びにもたっぷり時間をとることができた。色々な場所に行くことができてとても楽しかった。